

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館 アイメッセ山梨	所管課	産業労働部 産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
指定管理者	公益財団法人やまなし産業支援機構		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立産業展示交流館設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 25,760.6㎡ (第2・3駐車場は含まない) ○建築延面積 9,945.9㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上4階建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出用施設 <ul style="list-style-type: none"> 1階 屋内展示場 4,860㎡ 4階:会議室 212㎡(160席) 屋外展示場 1,080㎡ 冷暖房設備付・エレベーター1基付 ・駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 第1駐車場(構内) 4,300㎡(250台収容) 第2駐車場(東側隣接地)12,383㎡(470台収容) 第3駐車場(NEC西側) 8,638.3㎡(430台収容) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1)セレス甲府 (2)甲府市総合市民会館
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用率	利用率	43.7%	34.6%	39.9%	
	利用率合計	43.7%	34.6%	39.9%	
	目標値	35.0%	36.0%	37.0%	38.0%
	目標値設定の考え方及びその理由	リピーター30% 新規 8%			
	対26年度比		79.2%	91.3%	
利用率		43.7%	34.6%	39.9%	38.0%

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	117,180,100	107,217,000	130,519,559	120,800,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	14,536,346	15,760,000	15,994,355	15,200,000
	収入合計(A)	131,716,446	122,977,000	146,513,914	136,000,000
支出	人件費	30,279,524	27,150,000	29,801,405	26,200,000
	県への納付金	12,294,400	12,294,000	12,294,400	12,794,000
	管理運営費	86,316,724	83,128,000	85,884,766	96,206,000
	うち外部委託費(B)	23,205,700	22,100,000	23,682,287	23,200,000
支出合計(C)		128,890,648	122,572,000	127,980,571	135,200,000
収支差額(A-C)		2,825,798	405,000	18,533,343	800,000
外部委託比率(B÷C)		18.0%	18.0%	18.5%	17.2%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数:84人(回収率100%)
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設や設備の状況	89.3%	7.1%	3.6%	0.0%
②施設のサービス提供	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%
③職員・スタッフの対応	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%
④施設全体の満足度	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%
⑤再度利用希望	73.8%	26.2%	0.0%	0.0%
施設全般の満足度	89.5%	9.8%	0.7%	0.0%

利用者の意見	①使用時に扉が開いているのが望ましい。 ②突然の停電が残念だった。 ③壊れたテーブルが1台入っていた。 ④磨きの白い粉がひどく、タイヤが白くなってしまった。 ⑤ワイヤレスマイクの不調。
利用者の意見への対応	①防犯の関係上、主催者が来てから解錠する旨を伝えた。 ②イベント中は設備作業は行わないことに徹底した。 ③イベント終了時に備品整理を徹底した。 ④清掃の徹底を行った。 ⑤電池交換して対応した。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおり適正に維持管理業務を行った。修繕箇所は迅速に対応した。	業務計画書及び管理運営業務の内容及び基準等に基づき、適正に実施されている。
運営業務	業務計画書どおり適正に業務を実施した。また、旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行なうワンストップサービスを強化し利用者の利便性向上を図った。	業務計画書に基づき、適正に実施された。利用満足度も80%以上と高い。しかし、再度利用希望が70%超にとどまっているため、その理由を調査・分析し、リピーター確保に向けたより一層の努力を期待する。
利用状況	利用件数は目標値86件に対し84件と下回ったものの、利用率は目標値37%に対し39.9%と大きく上回った。 昨年度実績は、利用件数78件、利用率34.6%であり、利用件数、利用率ともに昨年度を大きく上回った。 その主な要因は、昨年度に比べ、新規利用者、撮影関連が増加したことである。	利用件数は目標値を下回ったが、利用率は目標値を上回った。 県内をはじめ、関東圏や関西圏において、継続的に誘致活動を実施してきた成果が出ている。 引き続き、利用者の利便性を向上させるワンストップサービス等の取り組みを実施しつつ、継続的な利用の促進を図る取り組みが望まれる。
収支状況	利用料や手数料収入の増加、更には光熱水費などの経費削減にも努めた結果昨年度に比べ増収となり、黒字を確保できた。	これまでの営業活動の成果により、課題であった平日利用が増え、施設利用料が増加するとともに、管理業務の効率化による経費の縮減が図られるなど、健全な経営が行われている。
自主事業	毎年開催している「甲斐クラフトフェア」は、151者の出展、10,025人の来場があり昨年以上に大盛況であった。閑散期の利用率向上、収益向上に貢献した。	施設の設置目的の一つである、文化の向上にも資する事業であり、利用率向上にも貢献している。 自主事業は施設の利用率を向上させるとともに、施設の設置目的にも貢献するため、新たな事業の企画も望まれる。
利用者満足度	利用者へのアンケート結果は、「満足」との回答が8割以上を占めた。ワンストップサービスを強化するとともに、利用者のニーズに応じた提案を行い、利便性の良さを実感してもらった事が大きな要因になったものと考えられる。	利用者の満足度は高く、利用者からの要望や意見に対し、速やか且つ適切に対応されていた。

運営目標の達成状況	<p>目標値の利用件数86件、利用率37%に対し、利用件数は84件と目標値を下回ったが、利用率は39.9%と目標を上回った。昨年度に比べ、長期に利用される撮影関連が大幅に増加したことが利用率の向上に繋がった。</p>
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>施設全般の管理・運営は適正に行われている。 施設利用率が前年度を上回ったが、これは、これまでの地道な営業活動の成果によるものであり、飲食、宿泊、設営等の各種業務の手配を指定管理者が一括で行うワンストップサービスの更なる充実と合わせ、施設の利用促進を図ってもらいたい。 また、県内企業が施設を展示会やフェア等に利用することにより、県内への経済波及効果が期待できるため、今後も引き続き、県内企業への営業活動に取り組むことを要望する。</p>
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>施設利用者の利便性向上を図るため、必要な修繕を行うとともに、利用者からの要望・意見にも速やかに対応するなど、施設の適正な管理・運営に努めた。 施設の利用率向上、収入増加にあっては、リピーターの確保以外に新たな利用者増のため、首都圏のほか、中京・関西圏にも営業活動を行い、15件の新規顧客を獲得した。 また、県内企業の利用拡大にあっては、自主企画事業のほか、財団によるテクノICTメッセ、取引拡大商談会等の各種支援事業と連携し、引き続き、その利用促進を図るとともに、営業を強化していく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

